

高知県で3例目となるヘラシギの記録 (チドリ目シギ科)

田中正晴*

Third record of the Spoon-billed sandpiper *Eurymorhynchus pygmeus* from Kochi Prefecture, Japan (Charadriiformes: Scolopacidae)

TANAKA Masaharu *

Key words: Spoon-billed sandpiper, *Eurymorhynchus pygmeus*, migratory bird, 3rd record, Kochi Prefecture

チドリ目シギ科のヘラシギ *Eurymorhynchus pygmeus* は嘴の先がヘラ状となっている種で、全長は約15cmである(真木・大西, 2000)。繁殖地はシベリア極東部の沿岸地帯で、日本・韓国・中国などを経由して、東南アジアからインド東部に至る海岸で越冬する(柏木, 2010)。ロシア科学アカデミーの2009年の調査では、繁殖に関わるつがいの数が150から320と推計されており、このまま放置すればまもなく絶滅することが確実な状況である(柏木, 2010)。また、環境省は本種を絶滅危惧IA類に指定している(柏木, 2010)。本種の高知県への渡来はきわめてまれであることから、筆者が高知県下で観察したヘラシギを以下に紹介する。

1991年9月22日と23日に、高知県香南市吉川町吉原の耕作地でヘラシギ1羽を観察した(図1)。観察地は土佐湾に面した吉川漁港北側の耕作地で、西側に物部川が流れている。観察した区画は早ぼり甘藷の畑である(図2)。収穫を終えた早ぼり甘藷畑は土質の改善のためと思われるが、浅く水が入れられて干潟のような状態にしてあった。観察は自家用車の中から7倍の双眼鏡を用いて行った。なお初観察した1991年9月22日に、同地区では以下の鳥類が確認された：コサギ5羽、アオサギ3羽、トウネン12羽、ヒバリシギ2羽、



図1. ヘラシギ. 撮影日1991年9月22日.
撮影場所 高知県香南市吉川町吉原.

アオアシシギ1羽, キアシシギ1羽, イソシギ3羽.

1979年9月16日に高知県幡多郡黒潮町入野でヘラシギ1羽が写真撮影された(高知県, 1986)。これが高知県における本種の初記録となる。また、同じく入野で1981年9月13日に1羽が観察されている(松田, 1981)。したがって、本報告は高知県下における本種の3例目の記録となる。

*〒783-0055 高知県南国市双葉台15-1
15-1 Futabadai, Nankoku 783-0055, Japan

高知県で3例目となるヘラシギの記録

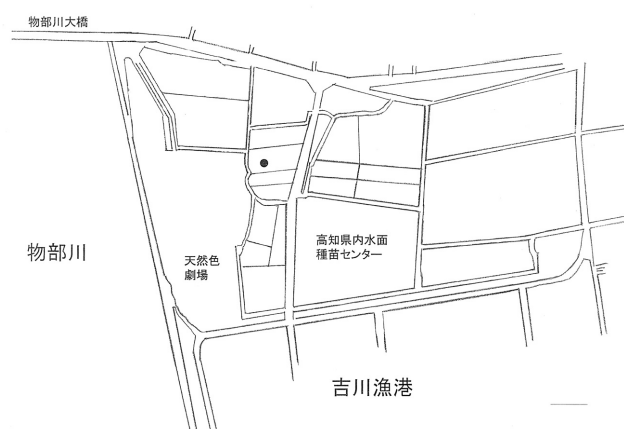


図2. ヘラシギの観察地. 高知県香南市吉川町吉原の黒点のある圃場で観察した.

謝 辞

ヘラシギに関する情報を提供していただいた

NPO 法人バードリサーチの守屋年史氏と日本野鳥の会高知支部長の西村公志氏, 御助言をいただいた高知大学医学部の熊沢秀雄氏に心より感謝いたします.

引用文献

- 柏木 実. 2010. 生態図鑑 ヘラシギ. バードリサーチニュース, 7 (11): 4-5.
- 高知県. 1986. 高知県の鳥1986年. 高知県保健環境部, 300pp.
- 真木広造・大西敏一. 2000. 日本の野鳥590. 平凡社, 東京, 654pp.
- 松田京子. 1981. シギ・チドリのシーズンですよ. 鳥友, (75): 4-5.

(原稿受理: 2014年11月11日)